

「恋人の聖地」に舞台



ベンチが舞台になるあずまの整備が進む道の駅「内灘サンセットパーク」 内灘町大学1丁目

多彩な催しに利用

内灘・道の駅

内灘町大学1丁目にある道の駅「内灘サンセットパーク」に1月中旬、イベントに活用できる舞台が完成する。芝生の広場内にあずまを新設、普段はベンチになっていたが、各種催しの際には舞台に早変わりする仕組み。舞台の背景には内灘海岸とともに「恋人の聖地」に認定されたサンセットブリッジがあり、聖地・内灘のにぎわい創出につながる。

あずまや内は、通常はコの字形のベンチになっているが、イベント時には中央部分をふさぎ、ステージにできる。昨年夏には同所で特設ステージが生まれ、サマーナイトフェスティバルが行われたが、気軽に各種催しを開催できるようにす

る。

さらに、道の駅入り口付近の芝生部分には、日よけや雨よけになる設備も1月中に完成する。

「恋人の聖地」認定を受け、同町では活動母体となるNPO法人の設立に向けて、各種団体による準備会が検討を進めている。

る。

道の駅でも新設の舞台を町民らの手づくりによる多彩な催しに活用してもらおうほか、今後、駅外周のフェンスを生かしてイルミネーションコンテストや花のコンテストなども企画し、町の魅力を高めていきたい考えだ。